



男声合唱団 昴ニュース

No.800
2023.10.15

発行：男声合唱団 昴
レッスン会場：
大阪市中央区谷町7丁目1-39
谷町第2ビル308号 ねむかホール
連絡先：090-6058-5652(立川)

14回コンサートせまる



地底のうた練習 特別団員・アコーディオンと共に(9/17)

- 10月～11月の活動予定 (会議を除く)
- 10/15(日) 13:00 合同レッスン(第1部通し) 昴団員
 - 〃 14:00 地底のうた特別団員との合同
 - 10/19(木) 17:00 声楽千秋教室 II
 - 10/20(金) 18:00 定例レッスン
 - 10/22(日) 14:00 第14回コンサート(9:30集合)
 - 11/3(金) 13:30 声楽中村教室
 - 〃 18:00 定例レッスン
 - 11/5(日) 14:00 昴友の会定例練習会 (打ち上げ)
 - 11/7(火) 15:00 T1. 2パートレッスン
 - 11/14(火) 13:30 声楽千秋教室 I
 - 〃 18:00 Br. Bsパートレッスン
 - 11/16(木) 17:00 声楽千秋教室 II
 - 11/17(金) 18:00 定例レッスン
 - 11/19(日) 午後 団内コンサート (午前 リハ)

いよいよコンサートが近づいてきました 指揮者 坂井威文

昨年より指揮者を拝命し、初めての大型コンサートということで自分自身もワクワク・ドキドキしています。

盛りだくさんのプログラムで一度はどうなるかと心配していましたが、この何回かのレッスンは前に立っていても毎回見違えるような進歩があり、昴の底力のすごさを目の当たりにしています。

本番が近づいた最終段階でぜひしてほしいのがイメージトレーニングです。以下の文章を読みながら本番の流れにすこし想いを馳せてみてください。

冒頭、緞帳が閉まった中にスタンバイして「ワクワク」のイントロが始まると同時に幕が開き、いっぱいのお客さんが座っておられるよう集客への努力は抜かりないですか。

「ワクワク」、このコンサートの雰囲気を決定づける楽しい曲です。力まず楽しんで歌えそうですか。

「歌謡デラックス」、昴が歌謡曲なんて！と思われるお客さんもいるかもしれません。楽しんで歌っている姿を見せることでお客さんを引き込めそうですか。

合発で涙をのんだ「ヒロシマ」「種子」は心置きなく歌えそうですか。

「地底のうた」、アコーディオンや特別団員の皆さんのおかげもあり壮大な演奏になりそうです。フルパワーで表現する用意はできていますか。

リピート山中さんのステージは舞台袖で聴くことになるかと思えます。笑いあり涙ありのステージに共感できる心の余裕はありそうですか。その後に一緒に歌う「ありがとうの歌」、リピート山中さんがあつためてくれた雰囲気を壊さずに加われそうですか。

そして「うたごえで世界一周」キャビンアテンダントの中村先生の案内に想いを乗せて、「最上川」から始まる「川の流れ」が世界中を巡って大河となって還ってくるイメージ

✓ はありますか。
最後は「昴」。団名と同じこの曲をしっかりと歌えるよう最後まで舞台上に立ち続ける覚悟はありますか。
あとわずかな時間ですがコンサートまで走り抜けましょう。

昴の仲間のみなさん

団長 千秋昌弘

いよいよ新生昴、お披露目の第14回コンサートまで1週間となりました。

レッスンを積み上げる中で、昴という団体の持つ独特の存在感がエネルギーとして湧き上がってきています。

みんなそれぞれ、いろんな困難な条件を持ちながらも、一つのコンサート成功という目標に向かって、精一杯頑張っています。

また、数十年の人生が、歌に声にハーモニーにこめられ、いつもコンサートのアンケートには「生きる元気をもらった」という感想が寄せられます。

この昴のコンサートを大阪中の皆さんが期待しています。20数名という少なくなった昴なりに、輝くステージを創ろうではありませんか！

私も、関西合唱団共に歌う会から歌いに来てくれと声がかかって来ましたが、10月22日までは行けないと言って了解を得ています。また仕事も10月12日から22日までコンサート成功のため休みを取っています。

チケット到達も以前30数枚と書きましたが現在は60枚近くに到達し、チケットにちらしを同封し40数通あらたに郵送しております。

がらがらの客席ではいい音楽は生まれません。できれば満席、せめて7～8割のお客さんを前に歌いたいものです。

ほとんどの人が身体に何らかのものを抱えながらのステージですが、力いっぱい頑張って、14回コンサートを指揮者と一つになった歌で、昴に入りたい、昴と一緒に歌いたいという人を増やせるコンサートに、成功させて行こうではありませんか。



会場までの行き方 (注意点)
地下鉄谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘駅」から北へ
 天王寺区民センター約100m、クレオ大阪中央約200m
 この駅は、南行き・北行きのホームと改札が別々で、谷町筋を東西に渡るには、ホームの下を歩いてくぐる階段はありますが、**南行きの場合①出口 (エレベーターあり)** から出て、北の六万休交差点の横断歩道を渡る方が楽です。**北行きの場合②出口**は階段のみ、エレベーターは⑤出口しかありませんのでご注意ください。

10/22 当日のスケジュール

9:30 天王寺区民センター 2階和室集合
 体操・発声・練習

10:40 クレオ大阪中央へ移動
 楽屋 (3F和室・控室3) へ荷物を置いて舞台へ

11:00 ホール舞台集合
 ゲネプロ

13:00 昼食休憩 (弁当用意します)

13:30 開場

13:55 舞台集合

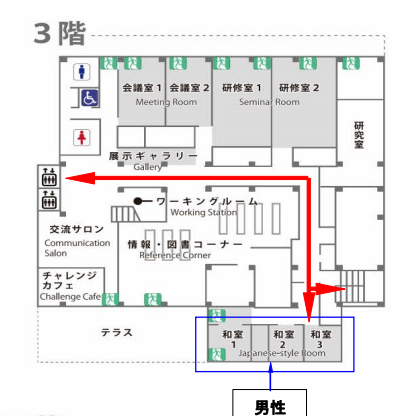
14:00 開演

第1部	青又は緑シャツ (シャツ入れ用の袋持参・舞台袖で着替え)
地底のうた	白シャツ
第2部	ありがとうのうた 赤シャツ・9条バツ
第3部	赤シャツ・9条バツ

16:10 終演予定
 着替え、片づけ後移動

17:00 打ち上げ会 (会費 2,000円予定、
 「興隆園」地下鉄谷町6丁目駅)

クレオ大阪中央 フロアマップ



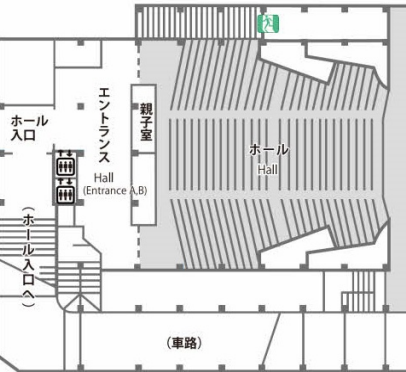
3階和室と舞台の間は、エレベーター又は階段を利用します。

1階



ホールフロア席 (1階席) は、地下1階、バルコニー席 (2階席) は、1階です。

地下1階



地下2階



トイレは、ホール入口階の地下1階にはなく、エントランスに出た場合、お客様は地下2階まで降りなくてはなりません。ホール横上手側ドアからだと、直接地下2階に出られる構造になっています。

コンサート本番まであと1週間。コロナ以外にもインフルエンザなどどくれぐれも気を付けてください。